

いつ起こるか分からない

地震や風水害に備えて

予測困難で、ひとたび発生すると大きな被害をもたらす大規模地震や風水害は、いつ私たちの身に降りかかってくるか分かりません。このようなときに被害を最小限に食い止めるには、行政の力だけでは限界があり、皆さんの日ごろからの対策と迅速な行動が求められます。今月は、防災について皆さんと考えてみたいと思います。

地震そのときあなたは

地震発生時の行動を普段から身につけておかないと、被害を拡大させることとなります。

冷静な行動を心掛けましょう。

まず、わが身の安全

- ・テーブルや机の下などに入る
- ・座布団など手近なもので頭部を保護する

素早く火の始末

「火を消せ！」と声をかけ合う

- ・調理器 暖房機などの火を確実に消す
- ・ガスの元栓を止め、電気のブレーカーを下ろす

出口の確保

中高層住宅ではすぐに外に出られるように出口を確保しておく

火が出たら、まず消火

「火事だ！」と大声で叫び、近所に協力を求め、初期消火に努める

慌てて外に飛び出さない

- ・瓦やガラスなどの落下物に注意し、落ち着いた行動をとる

狭い路地、塀ぎわなどを避ける

ブロック塀、自動販売機などは

倒れやすいので注意する

避難は徒歩で、荷物は最小限に

- ・事前に避難所までの複数の経路を確認しておく
- ・避難は集団で行動し、車は使わない

地震わが家の安全対策

「タンスが倒れて下敷きになった」「食器棚から割れたガラスが降ってきた」…。大きな地震による死傷者の多くは、家具の転倒や物の落下によるものです。

家具の配置を見直して家の中に安全なスペースを確保し、しっかりと固定しておきましょう。

家具の固定

L型金物か支え棒などで固定する。壁に固定するには、壁の中の下に確実に固定することが重要です。二段重ねの場合は、つなぎ目を金具で連結しておきましょう。

照明器具

1本のコードでつってあるだけなら、チェーンなどで数か所留めましょう。

家具の配置にも注意

家具の転倒などを防止することは大切ですが、配置についても十分注意が必要です。

出入口付近に家具を置くことと避難路をふさがれることがあります。また、台の上に乗せたテレビ、パソコンは飛び出すことがあるので特に注意が必要です。家具の高さ以上に距離をとり、就寝位置を確保しましょう。



平成19年7月16日に発生した新潟県中越沖地震で倒壊した家屋

大雨が降りだしたら

大雨、洪水、台風の場合は、テレビ、ラジオなどの気象情報や災害情報でチェックし、次のことに取り付けましょう。危険を感じたら、慌てずに自主的に避難できる準備をしてください。非常持ち出し品の準備(参照)。

河川の水位上昇に注意する

浸水がよくある地域では、土のうの用意、水防活動に協力を)

崖崩れは、大雨のピークから1〜4時間後が起きやすい

傾斜地で小石がパラパラ落ちてきたり、崖に裂け目ができたり、水がわき出てきたら、それは崖崩れの前触れです



非常持ち出し品の準備

地震や風水害では、水道や電気などのライフラインの供給が中断したり、食料、日用品の流通機能がまひすることが想定されます。

万一に備え、素早く避難できるよう、日ごろから非常持ち出し品の準備をしておきましょう。

水：飲料水は一人1日3リットル、3日分を目安に備蓄。生活用水

(洗濯、洗面、トイレなど)は、浴槽にためておきましょう

食料：米の備蓄(缶詰、アルファ

米、レトルト食品も便利)、はし、コップ、皿など必要な用品をチェック。お年寄りや乳幼児の食料(お粥、ミルク、離乳食)なども忘れな

いようにしましょう
照明器具：懐中電灯を一人に1個(予備電池を忘れず)用意。ろうそくも準備しておきましょう

燃料：卓上コンロ、ガスボンベのストックが必要(ガスボンベ1本で約2時間)。キャンプ用品も有効です。練炭や木炭を使用する場合は、換気に注意しましょう

ラジオ：情報収集には欠かせません。予備電池は多めに準備しましょう

貴重品：現金、権利証、預金通帳、印鑑、健康保険証、免許証などは大事なものです。コピーを取れるものは取っておきましょう

医療品：かぜ薬、傷薬、胃腸薬、包帯などを用意しておきます。特に、病人やお年寄りの常備薬を忘れないようにしましょう

衣類：下着、上着、靴下、軍手、タオル、防寒着、敷物などを用意しておきましょう

日用品：洗面具、ロープ、ポリ袋、ティッシュ、筆記用具、生理用品などを用意しておきましょう



公式モバイルサイトの活用を

狭山市公式モバイルサイトは、すべての携帯電話会社の全機種に対応して、市政に関するさまざまな情報をいつでもどこでも簡単に取り出せます。また、緊急情報や気象情報など、全6種類のメール配信サービスも行っています。

モバイル安心安全ガイドのコーナーは、防災・防火・防犯・交通安全の各種ガイドのほか、応急手当のポイント、避難場所一覧など、皆さんの役に立つ情報が満載です。

8月28日

総合防災訓練を実施

いつ起こるか分からない災害に備え、防災意識の高揚を図るために総合防災訓練を行います。

訓練は、各自治会が単独で行う自治会個別訓練と、各機関や自治会が協力して行う自治会連携訓練に分けて行います。

災害が発生したときに、自分が何をすべきかを考え、災害に対して十分な準備ができるよう、ご近所やご家族でご参加ください。

日時 8月28日、9時〜12時

自治会個別訓練実施地区：入間川地区、堀兼地区、水富地区、新狭山地区
自治会連携訓練実施地区：会場
入曽地区：南小、山王小 奥富地区：奥富小 柏原地区：柏原中

狭山台地区：狭山台中 訓練内容
自治会個別訓練：安否確認訓練など
自治会連携訓練：安否確認、避難者名簿作成、炊き出し、防災学習、簡易トイレ組立、避難訓練など(聴覚障害のある方のために、手話通訳もあります)

当日は、9時に防災行政無線でサイレンを鳴らしますので、火災と間違えないようご注意ください。なお、中止の場合も放送を流します

問合せ防災課へ内線3695